

学年だより

富士市立吉原北中学校 第3学年
学年テーマ

夢の実現を目指して fff 編
～強い意志・強い絆で感動あるフィナーレ～
令和7年7月 NO. 4

中体連に向けて（部活動激励会&決起集会）

6月13日（金）部活動激励会が開催されました。どの部活も、2年生が中心となって企画し、それぞれの活動場所で準備されました。3年生が招かれ、会が始まると、1・2年生が、3年生の今までの頑張りを称えたり、応援メッセージを伝えたりしていました。それに応えて、3年生は、感謝の気持ちを添えながら、残り少ない日々を大切に一緒に頑張ろうと思いを語っていました。最後に記念撮影をするなど、心温まる会に、涙する生徒もいました。

また、3年部では、中体連が始まる前日20日（金）に決起集会を行いました。先生からは応援団の経験を活かした熱いエールが送られました。また、学年のテーマソングの Little Glee Monster の『いつかこの涙が』をみんなで熱唱したり、円陣を組んで気合いを入れたりしました。きっと、お互い会話をしなくても心をつなぐことが出来たことと思います。

中体連の結果は、それぞれ違いますが、今まで活動を共にしてきた仲間と過ごした日々は、決して忘れることのない価値のあるものとなっていると思います。活動が終了した部活動もありますが、あと少し、北中の応援をよろしくお願いします。



6月テストの見直しを...

6月テストが終わりました。テストを返却しましたので、もう一度家庭学習や授業の取組を見直し、夏休みという長期休みをどのように過ごすかを考えるきっかけにしてみてください。長期休みは、一度各授業の進度が止まります。自分の苦手な教科に時間を割くなど、長期休みを有効に使ってください。

お知らせ

- 7月3日（木）はアルバム個人写真撮影日の予備日です。前回の撮影日に欠席した生徒で、この日にも欠席となると、夏休みにスタジオに行っていただくこととなりますので、御承知ください。
- 7月14日（月）は水泳教室があります。午後、静岡県富士水泳場にバスで移動し、講師の指導を受けながら、着衣水泳を体験します。持ち物は以下のようになっています。準備をお願いします。見学する場合は、保護者が連絡帳へ記入してください。

持ち物

- ・水着（形・色などに指定なし。普段家庭で使っている水着で可。）・水泳キャップ
- ・北中ジャージ上下 ・500 mlのペットボトル空の1本（500 ml以上でも可）
- ・着替え（体操服か制服） ・大きめのビニール袋2枚（下足と濡れた服を入れるもの）
- ・タオル ・水筒 ・ゴーグル（任意） ・きれいな靴（着衣水泳のため靴を履いて実施。かかとが覆われていないサンダルは不可。クロックスのようなバンドを足首にかけて脱げないものは可

- 7月22日（火）から、夏季休業開始です。22日（火）から28日（月）の5日間で三者面談を行わせていただきます。担任が日程調整し、決まった日時をお伝えすると思いますのでよろしくお願いいたします。

生徒のみなさんへ

～次のテストに向け～

勉強の能率とは

「どうも勉強の能率が悪くて」「いくらやっても効果が上がらない、要領が悪い。」こんな話をよく聞きます。

能率というのは、少ないエネルギーで十分な仕事をしたいという意味で、勉強の能率といえば、出来るだけ少ない労力で大きな効果を上げることになります。考えようによってはずいぶん調子のよい話です。勉強の能率といいますが、勉強に費やすエネルギーは測定できませんし、勉強の効果というものは計ることができませんから、この勉強の能率というのは合理的なものではありません。多分にその人の感じ、感覚というものが含まれています。つまり、「何となく能率が悪い感じがする。」とか「もう少し効果的なやり方があるのではないか。」といったあいまいな感覚が主になっているのです。確かに私たちはそんなあいまいな感覚にとらわれてしまいがちです。なぜかというと、自分の能率というものをあいまいのままにしているからというのが一つの原因です。つまり勉強なら勉強に、自分はどれだけのエネルギーを注入したか、その結果どれだけの知識なり考えなりを得たかを確認していないからです。

たとえばここに10の力を入れて、15の効果が得られたということを確認したとすれば、「我ながら良くやった」となりますが、「10の力を注入したが、結果は5しかなかった」となれば「無駄があった、失敗した」という感じしか残らないと思います。そこでまず「自分はどれだけの力を注いだか」を把握し、「その結果、それだけのものを得たか」を確認することが必要になってきます。その両者は、いずれも自分の感じではなくて、客観的な記録でなくてはなりません。記録というのは計れるもの、たとえば「どのくらい勉強したかという時間」ですし「どのくらいやったかというノートの量」ということになります。机に座って「どのくらいの時間、持続したかという時間」でもいいですし、「何ページ解いたというページ数」でもいいでしょう。それらは、注入したエネルギーの量を表すとみてもいいでしょう。学習計画表を毎日提出していますが、上記のことを考えながら、計画の見直し・修正をし、実践にうつして試してみてもいいでしょう。